

ビッグデータ活用県民健康づくり“モデル事業” 宇和島保健所～健康づくりRe・Form～

ビッグデータによる地域診断を活用した効果的な生活習慣病対策のためのフィールドサポート事業



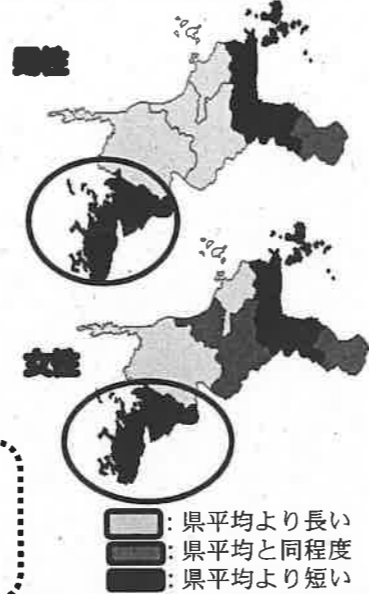
目的

我が国では、糖尿病、高血圧及び肥満等の生活習慣病をはじめとした健康問題が課題となる中、宇和島圏域では高齢化率が県平均よりも高いうえ、健康寿命が県平均より短い状況であり、特に、若い時期からの肥満や高脂血症などの健康課題が多い。

そこで、将来を見据えた生活習慣病予防及び重症化予防を推進するには、管内のデータを分析することにより管内の健康課題を明確にし、PDCAサイクルを意識した効率的・効果的な健康づくりの推進を図る必要がある。

そのためには、管内市町に対しデータの提供、関係機関の情報交換を行う場を設けるとともに、管内市町職員の地域分析能力等を踏まえた人材育成を行い、課題に沿った事業を展開できるようフィードバックを行うことを目的とする。

65歳の平均自立期間マッピング



<現状>健康格差

愛媛県(男:17.1年 女:20.5年)

宇和島保健所管内(男:16.5年 女:20.2年)

※65歳の日常生活動作が自立している期間の平均が県平均より短い

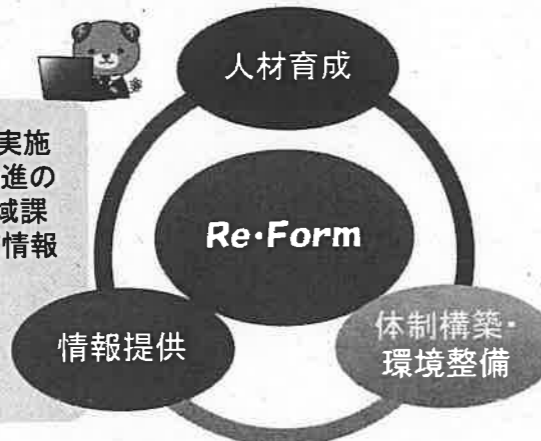
基本的な取り組み

- 各種データベースの活用にかかる基本的な能力(統計)
- 管内市町と協働したOJT(健康づくり計画等の指標に評価方法、KDBの現場での活用研修)
- データを活用した地域診断に関する能力(散在する既存データの活用)
- データを活用した生活習慣病対策に関連する施策、事業等の計画立案・実施・評価に関する能力



総合的に展開

- 健康増進計画や特定健診実施計画、データヘルス計画推進のためエビデンスに基づく地域課題を住民に「見える化」して情報提供
- 分析チームからのKDBと協会けんぽデータの結果を反映



- PDCAサイクルに基づいた生活習慣病予防や重症化予防の取組に対し、医師会との連携等のフィールドサポート
- 異なる保険者の情報共有や関係団体とのデータ共有と活用
- 健康課題を具体化することや、データ収集を目的に、内容を検討する場(ワーキングチーム)の設置

基本的な取り組みから展開する事業内容

「関係機関とのネットワーク」と「住民へ向けての啓発」



- ◆ 生活習慣病の重症化予防のための拠点病院と関係医療機関、市町とのネットワーク
- ◆ データに基づいた健康課題に対する全ライフステージの健康づくり(食生活・運動)のポイント(リーフレット作成)
- ◆ 効果的な受診率向上施策として、保健所が医師会と協力して、健康診断受診の「きっかけ」の提供となるポスター等を作成し普及

保健所ワーキングチームや既存会議(県民健康づくり推進会議等)の活用

事業期間(H30年度～H32年度)

1年目
H30年度

- A 分析能力向上に加え、重点事業の評価能力向上研修(前年度に+α)
- B 各ライフステージへのアプローチの必要性を考え、散在する既存データ及び調査の指標項目を検討し、健康課題を抽出。
- C データを蓄積するため、健康診断受診率アップに向けた媒体づくり
- D 生活習慣病予防及び重症化予防のためのネットワーク会議(1年目)

2年目
H31年度

- A 分析能力向上に加え、重点事業の評価能力向上研修(前年度に+α)
- B 各ライフステージに抽出された健康課題で網羅できない世代に対し、質的データの実施。
- C 健康診断受診に繋げるためのアプローチ方法について、方法や手段を習得し先験的な事例を研修
- D 生活習慣病予防及び重症化予防のためのネットワーク会議(2年目)



3年目
H32年度

- A 分析能力向上に加え、重点事業の評価能力向上研修(前年度に+α)
- B 住民向け健康課題に対する全ライフステージの健康づくりリーフレット作成
- D 生活習慣病予防及び重症化予防のためのネットワーク会議(3年目)
- 3年間の事業の見直しを行い評価

**ビッグデータ活用県民健康づくり “モデル事業”
宇和島保健所～健康づくりRe・Form～ について**

1年目では、当モデル事業の方向性と内容を具体的に決めるとともに、管内市町に対し理解を求めたうえで、次のとおり実施した。

- 第1回宇和島保健所健康づくり実践ワーキングチーム
 - 実施日 H30.10.31 (水) 10:30~12:00
 - 内容: ①モデル事業の3年計画について②10/31研修について③今後の取り組みの検討
- 平成30年度健康づくりRe・Form研修会

実施日	内容
H30.9.6~ 事前研修	<p>次の内容について、保健所から管内市町へ提出を依頼する。</p> <p>① 9/25㍻切(データ提出及び分析に基づく各市町の生活習慣病対策のための現状分析と課題設定)</p> <p>② 10/12㍻切(各市町の重点事業の事業評価:ストラクチャー、プロセス、アプトプット、アウトカムにそって評価する)</p>
H30.10.31 研修	<p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 講話 「健診・医療・介護等のビッグデータを活用した地域の健康課題に基づく生活習慣病対策～PDCAサイクルの展開をするために～」宇和島保健所長 廣瀬浩美 情報提供 愛媛県と宇和島保健所の現状」宇和島保健所健康増進課健康づくり推進係 演習 グループワーク  <p>グループワーク様子</p>  <p><参加>管内市町、全国健康保険協会愛媛支部等 41名</p> <p><結果></p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に市町が把握している国保データ等を基に、下記右を作成し提出したうえで、研修会では、グループで内容を検討し地域診断の能力を育成する。 研修会では関係機関の情報交換を行い、課題にそった事業を展開できるよう意見交換を行う。 グループワークのファシリを課題作成者にしてもらい、OJTを実施することができた。

事後研修 30.10.31~ ~H31.1.7	<ul style="list-style-type: none"> 10/31の研修受講者が自分の市町の職場に持ち帰り、研修に参加できなかった職員に伝達し、職場内研修を実施した。 データを活用したPDCAサイクルに基づく事業実施への人材育成を目的としている。 研修内容を8項目に分類し、研修後に各市町が実施したことを報告する方法をとる 参加数は管内市町延べ100名(成人保健担当課以外を含む)
-------------------------------	---

3. 平成30年度生活習慣病重症化予防検討会

実施日	H31.2.28 午後6:30~8:00
内容	<p>1 情報提供(保健所、宇和島市、愛南町)</p> <p>2 講演「糖尿病重症化予防に取り組む最近の診断と治療について」 講師:市立宇和島病院 内分泌内科主任科長兼糖尿病内科主任科長 宮内省蔵 食養科長 山崎 幸</p> <p>3 グループワーク「事例を基にした重症化予防を目指した関係機関との連携について」</p>
参加数	合計38名(医師6名、看護師5名、事務1名、保健師16名(産業保健3名)、栄養士9名(医療2名)、産業保健Cコーディネーター1名)
効果	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病専門医からの講話は、かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準等のタイミングの知識を得た。 グループワークには多職種で構成したことで各立場から意見だけでなく、今後の連携について検討できた。 アンケート結果から評価が高く、特に医師からの評価が高かった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等が参加しやすいよう6:30以降の開催 管内医師会の共催 日本医師会産業医認定制度及び生涯教育制度単位取得とした。



4. 啓発事業

- 通院中の人々が特定健診の受診が低いことから、管内医師会の協力を得て、通院中の人を対象にした受診啓発ポスターを考案する。
- 管内医師会長に内容について助言及び了解を得た上で、特定健診受診率アップの啓発ポスター及びリーフレット作成。
- 管内全医療機関の待合室等に掲示予定(3月20日以降)約100か所医療機関

